

## 岐阜県立看護大学紀要投稿規定

### 1. 投稿資格

- 1) 本学教員であること
- 2) 共同研究の場合は、本学教員が筆頭著者であること。
- 3) 本学大学院修了者であること（ただし、修士論文であり、本学教員との共著であること）。
- 4) その他、紀要編集委員会が認めた者。

### 2. 論文の内容

- 1) 看護学及び、看護学教育の発展・向上に貢献できるものであり、未発表のものに限る。
- 2) その他、紀要編集委員会が認めたもの。

### 3. 論文の種類

- 1) 総説：特定のテーマに関して、多面的に文献等を収集して、分析・考察を行い、得られた知見を包括的に概説したもの
- 2) 原著：研究論文のうち、研究そのものが独創的で、新しい知見が論理的に示されており、その意義が明らかであるもの
- 3) 研究報告：研究結果の意義が大きく、発表の価値が認められるもの
- 4) 資料：総説、原著、研究報告の分類に該当しないが、重要な見解、記録など、紀要編集委員会が適当と認めたもの

### 4. 論文の採否

査読者の意見をもとに、紀要編集委員会が最終的に決定する。

### 5. 投稿締切

紀要編集委員会にて年度初めに決定する。

### 6. 投稿要領

- 1) 投稿にあたっては、原稿原本1部に投稿書式1、2、3（※1）を添付して提出する。
- 2) 原稿は邦文および英文とし、A4縦置き横書きで余白を上下25ミリ、左右35ミリに設定し、ワードプロセッサを使用する。
- 3) 邦文の場合は、1ページにつき40字×40行＝1600字、文字ポイント10.5で作成する。英文の場合は、1ページにつき縦55行で900words程度、ダブルスペース（Double-spacing）で作成し、ネイティブチェックを受ける。
- 4) 原稿本文の文字制限（図、表、文献を含む）は、下記のとおりである。なお、本文には、論文タイトル、著者名および所属は記載しない。また、空白文字は文字数には含めないものとする。

論文の種類	邦文	英文
1) 総説	18,000 字	5,000words
2) 原著	18,000 字	5,000words
3) 研究報告	16,000 字	4,000words
4) 資料	14,000 字	4,000words

- 5) 原著および研究報告の場合は、800字以内の和文抄録および500words前後の英文抄録を付け、それぞれ下にキーワード3～5個を付す。なお、和文抄録および英文抄録には著者名および所属名を記載しない。
- 6) 原稿は、新かなづかいとし、原則として常用漢字を用いる。
- 7) 図表は、いずれも1枚の用紙に1枚の図または表を書き、割付（レイアウト）用紙（※2）を使って字数換算した文字数を付記する。また、本文原稿の右側欄外に図表の挿入箇所を明記する。
- 8) 文献は、本文中に著者名、発行年次を括弧表示するが、著者が複数の場合は筆頭者だけを挙げ、例示1、2のように表示する。

<例1>羽島ら(2013)は、…を○△と△△に分類している。

<例2>…は○△と△△に分類される(羽島ら, 2013)。

9) 文献は、引用文献のみを本文の最後の一括して著者姓のアルファベット順に列記する。但し、著者は3名まで表記する。

(1) 雑誌掲載論文

著者名. (発行年次). 論文題名. 雑誌名, 巻(号), 頁-頁.

<例>

岐阜花子, 羽島太郎, 大垣次郎ほか. (2000). 岐阜県立看護大学の教育・研究内容. 岐阜県立看護大学紀要, 1(1), 1-10.

Suzuki, A., Tanaka, E., Yamada, K., et al. (2009). A new mental health care model. Mental Health, 14, 46-55.

(2) 単行本

同一書籍からの本文引用が1箇所の場合は、下記①②の書式を使用する。

①著者名. (発行年次). 書名(版数)(pp.頁-頁). 発行元.

<例>

岐阜花子, 羽島太郎. (2013). 看護実践研究入門(第2版)(pp.10-15). 岐阜県立看護大学出版会.

②著者名. (発行年次). 表題名. 編者名(編), 書名(版数)(pp.頁-頁). 発行元.

<例>

羽島太郎. (2013). 岐阜県の看護の歴史. 羽島太郎, 岐阜花子(編), 岐阜県の看護1(第2版)(pp.100-110). 岐阜県立看護大学出版会.

本文引用が複数箇所にあたる場合は、文献リストには頁を記載せず、本文中の引用箇所に、下記例示のように該当ページを記載する。

<例> 羽島(2013, pp.1-2)もしくは(羽島, 2013, pp.1-2)

(3) 翻訳書

原著者名. (原書の発行年次)/(翻訳書の発行年次). 翻訳者名(訳), 翻訳書名(版数)(pp.頁-頁). 発行元.

<例>

アメリカ心理学会. (2010/2011). 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦(訳), APA論文作成マニュアル(第2版)(pp.192-193). 医学書院.

(4) 電子文献

著者名またはサイト設置者名. (発行年次). タイトル. 入手日(アクセス日). アドレス

<例>

岐阜県立看護大学紀要委員会. (2001). 紀要投稿マニュアル. 2013-4-1.

<http://www.gifu-cn.ac.jp/journal/manual.html>

10) 単位はSI単位とし、特殊な単位を用いるときは、簡単な説明を加える。

11) 略語を用いるときは、論文の初出のところで正式用語とともに提示し、その後略語を用いることを明記する。

12) その他の執筆上の留意点については、執筆要領(※3)に従う。

7. 著作権

本紀要に掲載された論文の著作権のうち、複製・頒布・公衆送信にかかる権利は公立大学法人岐阜県立看護大学に所属するものとする。但し、著者(共著の場合は著者全員の総意のもと)によるこれらの権利行使を妨げるものではなく、大学の許諾も不要とする。

8. 提出先

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町3047-1

公立大学法人岐阜県立看護大学 紀要編集委員会 事務局 宛「簡易書留郵便」または「直接持参」により提出する。

9. 査読

投稿原稿は全て査読する。査読者は、紀要編集委員会が任命する。

10. 掲載決定後の入稿原稿提出

投稿書式1（表紙）、本文原稿、図・表原稿一式を電子データとして保存したものとプリントアウトしたもの（2部）を提出する。

11. 著者校正

著者校正は、原則として初校1回とする。校正時に新たな加筆は認めない。

12. 掲載料

掲載料は無料とする。別刷（抜刷）30部は、無料とする。

※1 投稿書式1～3、※2 割付（レイアウト）用紙、※3 執筆要領は、岐阜県立看護大学ホームページからダウンロードできるので、投稿者自身で入手すること。

（平成26年6月改正）